



学校教育目標 <<本物の【あかぎの心】を育てよう>>

モッテコイ 諏訪小魂！

長崎市立諏訪小学校 校長 山崎 直人

第1学期終業式

4月からスタートした第1学期が終わります。新1年生は初めての小学校生活に戸惑いながらも次第に小学生らしくなってきました。2年生以上の子供たちは一つずつ学年が上がり、それに伴い言動も表情も成長を感じます。6年生の最高学年としての働きも見事でした。

終業式では次のような話をしました。

今日で第1学期が終わります。新しい学年になって過ごした4か月。「いいところミッケ」はできてでしょうか。校長先生が見つけた諏訪小の皆さんのいいところを4つ紹介します。

一つ目は「ワンストップ先言後礼」の挨拶です。

1年生も上手にできるようになってきました。校長先生がお仕事をしていて気付かなくても、自分から進んで声をかけてくれるステキな人がどの学年にも多くいて、とても嬉しいです。夏休みは、地域の方にもどんどん元気な挨拶をしましょう。

二つ目は「集合の仕方」です。

今日もそうでした。大勢の人が集まったら静かにする、ということが当たり前のようにできています。運動会前まではまだあんまり上手ではありませんでした。けれど、運動会の練習やその後の集まりのたびにどんどん上手になりましたね。2学期も忘れないでいてください。諏訪っ子の誇りです。

三つ目は「キレイな学校になってきたこと」です。

校長先生は時々学校中をウロウロしています。知っていますか。その時に、雑巾が落ちていたらかけ直したり、ゴミが落ちていたら拾ったり、荷物が並んでいなかったら並べたりしていました。けれど、最近はその仕事がほとんどないのです。ゴミも雑巾も荷物も落ちていません。これはちょっとスゴイことです。日本には「場を清める」という言葉があり、自分たちの生活している場所をキレイに保つことを大事にする心があります。「場を清める」気持ちが諏訪っ子の中に育っているとしたら素晴らしいことです。それでもたまにゴミが落ちてることがあって拾っていたら、それに気

付いた子が「ありがとうございます」と言ってくれることがありました。これもまた嬉しいことだなあと感じました。

四つ目は「学びに向かう姿勢が良いこと」です。

校長先生の学校ウロウロは「場を清める」だけでなく、皆さんが授業を受けている姿を見せてもらうことも目的です。廊下から見るだけでも真剣に先生の話の聞いたり、友達と学び合ったり、シンとして黙々と学習をしたりする姿を見ることが出来ます。嬉しい時間です。また、4・5・6年生の皆さんとは1時間ずつ授業をしましたね。その時も、前向きに、真剣に、時には笑顔で授業に参加する態度がありました。学校は学ぶところです。真剣に学ぶ姿が素晴らしく成長していることが嬉しいです。

校長先生が見つけた4つの「いいところミッケ」を紹介しました。1学期には楽しい行事もたくさんありました。教室では、1学期を振り返って、みんなが見付けたお互いのいいところを紹介し合ってください。

そして夏休みを前に伝えたい2つのこととして、

【夏休みにしかできない体験をたくさんすること】

【自分の命は自分で守ること】

を話しました。コロナ禍中では制限の多い夏休みでした。今年は大きな変わり目です。もちろん健康を守る意識はもち続けてほしいですが、子供たちにとってはかけがえのない「夏休みという特別な時間」です。忘れられない思い出をたくさんつくってほしいと願っています。

既にお知らせしていたように第1学期終業式に通知表はお渡ししません。各学級では振り返りや夏休みの話や学年・学級での楽しい時間を過ごしたようです。

大きな行事も多かった1学期でした。保護者や地域の皆さまのご理解ご協力のおかげで無事ゴールを迎えることができました。心より感謝申し上げます。